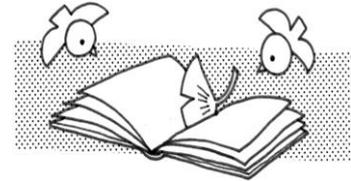


# 御小 図書館だより



No.6 司書教諭 宮田 留美

## 夏休み親子読書に御協力をお願いします。

6月の第1回親子読書週間に続き、夏休みに第2回親子読書週間を実施します。夏休みは、決められた1週間ではなく、夏休み中の都合のよい7日間、親子読書の時間をとり、カードに記入をお願いします。子どもたちに御家庭での読書習慣が身につくよう、御協力をお願いいたします。

### 「夏休み親子読書週間」について・・・

- 1 読書のめあてを考える。(〇ページ読む、〇分読む、など)
- 2 次の①～④のいずれかを行う。
  - ①家の人の読み聞かせ
  - ②交互に読みあう
  - ③子どもの読み聞かせ
  - ④親子で本を読む(読書タイムを設けて同じ空間で本を読む)
- 3 読んだ日、読んだ本の題名、読書の種類(上記①～④)、感想を記録する。
- 4 絵に色をぬり、ふり返りを書き、家の人からの言葉を書いてもらう。

## 読書感想文の書き方

夏休みに、読書感想文にチャレンジするお子さんも多いと思います。「読書感想文が苦手」という声をよく聞きます。読書感想文は、本を読んだ感想や思いを、文章で表現するものですので、自分の思いを、自分の言葉で、表現すればいいのです。

書き方の基本を紹介します。参考にしてください。

### ☆本を選ぶ

興味をもっているテーマや内容の本を選びます。物語や小説だけでなく、伝記、科学や生き物の本、スポーツ選手の書いた本などでも感想文は書けます。課題図書も物語だけでなく科学の本もあります。感想文を書いて、「書きにくいな。」と思ったら、本を代えるのもいいでしょう。

### ☆その本の主題(テーマ)を読み取る。

おもしろかったところ、感動したところを記録する(線を引いたり、メモをとったりする)と、後で感想文を書く時に、参考になります。

物語では、お話が大きく動いたところを探しながら読むといいです。

### ☆構成の仕方

- ①はじめ なぜその本を読もうと思ったか、本との出会い など
- ②あらすじ 簡単に。舞台(場所)、登場人物、時代(いつの話か)程度でよい。  
あらすじは書かなくてもよい。
- ③ 中 感想文の中心となることを書く。自分の経験を書く。  
本の中で好きな場面  
登場人物と自分が似ているところや違うところ、作者の主張や自分の主張 など
- ④まとめ 自分の主張やみんなに向けてのメッセージ、学んだことなど  
※「がんばる。」(努力)、「やってみる。」(挑戦)、「続ける。」(継続)、「～思いやる。」(思いやり)

※裏面には、低学年、中学年、高学年毎のポイントをまとめました。

## <低学年>

- ☆本の中で、一番好きな場面や、好きな登場人物について、どんなところが好きなのか、なぜ好きなのかを書く。
- ☆登場人物に言いたいことを書く。
- ☆登場人物と自分を比べて、似ているところ、違うところを考えて書く。
- ☆挿絵を見て気づいたこと、挿絵から分かることを書くこともOK。
- ☆登場人物に手紙を書くつもりで書いたり、「～したよ。」「～思ったよ。」というように話し言葉で書いたりしてもよい。
- ☆本を読んで思ったことを、家の人と話し合いながら書くことも効果的。  
※お子さんの思いを膨らませるお手伝いをしてあげてください。

## <中学年>

- ☆あらすじにならないよう、自分の思いや主題に迫る感想文にする。  
(もりだくさんにならないよう、書きたいことを絞る)
  - ・一番心に残った場面
  - ・登場人物の生き方や考え方、行動
  - ・本を読む前と読んだ後で、自分の気持ちが変わったところ
  - ・登場人物がしたことや言ったことの中で、自分が見習いたいこと など
- ☆構成を意識して書く。  
「はじめ」(原稿用紙半分程度)「中」(原稿用紙2枚程度)「終わり」(原稿用紙半分程度)
  - ・「はじめ」には、本を読むきっかけ、題名を見て思ったこと、本を読む前の自分の考えなどについて書く。
  - ・「中」には感想文の中心となることを書く。
  - ・「終わり」には、本を読む前と読んだ後では、自分の考えがどう変わったか、本から学んだことを自分の生活にどう生かしていくかなどを書く。

## <高学年>

- ☆自分の思いが膨らみすぎて、本から離れてしまわないように、本の主題や作者の最も訴えたかったことを意識して書く。  
「平和」「絆」「環境保護」「努力」など
- ☆作者の考えに対し、自分の意見をもつ。
- ☆構成を意識して書く。  
「序論」(原稿用紙半分程度)「本論」(原稿用紙2枚程度)「結論」(原稿用紙半分程度)
  - ・「序論」には、読む人の関心を引くような印象的な書き出しを工夫できるとよい。  
例えば、自分の主張を序論にも書く、本を読む前の自分の考えを書く、自分と主人公との違いについて書くなど
  - ・「本論」では、自分の主張や考えを書く。自分の経験を書いてもよい。
  - ・「結論」には、自分の一番主張したかったことや、今後の生活に役立てたいこと、新たな課題などについて書く。